
運命幻想 片思い

紅コ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

運命幻想 片思い

【Nコード】

N8227I

【作者名】

紅コ

【あらすじ】

運命だと思ってた恋は気のせいだった。

長い片思いの思い出を振り返っている女の子の話です。

(前書き)

短いのでよければ読んでみて下さい。

いつも目が追っかけてた

だけど 絶対気付かれないように

誰も知らない

冷やかされるから

誰にも言わない

噂なんかでばれないでほしいから

ただ想っているだけだけど

それだけでいっぱいいい

いつもこぼれないようにそっと

胸の中に飾る

あの人の言葉

雪降り積もる景色部屋の中で思った

”きれいだなあ”

隣から聞こえる

”きれいだな”

同じこと思ってたなんて恥ずかしい

私もなんて言えないから出てきた言葉は

帰るの大変なだけでしょ

自分の可愛げなさに本気で驚いた

絶対あの人は運命の相手

ずっとそう思ってた

席替えの時は神様にいつも全力でお願いした
またこの人の隣を私に下さい

またなれた

まだ素直にはなれないけど

もう諦めたいこの恋

体育祭で

隣のクラス

隣の列

遠いあの人

みんなが最初の種目出場準備で抜けていく
だんだん近づくあの人へ

あともうちよつと

ついに2人はお隣さん

2人の距離は数センチ

にやけそうになるのを堪えた

やっぱりあなたは運命の相手ですか

わかってる

想っているだけじゃ伝わらないって
だけど行動出来ない

思うだけで胸がいつぱい

思うだけでまた好きになる

話せても素直に言えない

口と開けば馬鹿とか悪口しか出てこない

お礼がいいただけなのに

あーなんでこんな簡単なことが出来ないの

きつと 私の事嫌いだろうな
自業自得だけど
嫌われたくなかった

あの人に私は見えない
私には見える

あの人にはあの子がいる私にも見える

重いつてわかってる
けど

この想いはこの言葉は
軽くない

勢いあまって伝えてしまったこの気持ち
あなたの答えは
無理 だった

最後までうまいこと話せなかったけど

思い込みの運命だったけど

大好きだった あの人

今なら言える

ごめん、

と

ありがとう

(後書き)

読んで頂きありがとうございます。

ご意見感想があれば言ってもらえると嬉しいです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8227i/>

運命幻想 片思い

2010年10月21日23時37分発行